

会 報 ≪第392号≫

次代を築くヒューマン・ネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会



発行日 平成30年 6月 1日

≪目 次≫

- I 平成30年度定時総会報告 ……1～2頁
定時総会概要
平成30年度新役員挨拶及び一覧表
- II 特別寄稿 『新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた
雲井通5・6丁目の再整備について』 ……4～5頁
神戸市都心三宮再整備本部都心三宮再整備課事業推進担当 鷺尾 真弓氏
 - 背景と目的
 - 再整備のコンセプト
 - 再整備ビル全体のイメージ
 - 基本計画の策定
 - バス乗降場の集約の考え方
 - 事業化に向けて
- III 寄 稿 神戸秘話第11回『かな書道の第一人者 書家・安東聖空』……6頁
(一社)兵庫県建築会 会 長 瀬戸本 淳
- IV 花だより ……7～8頁
 - (1) 伊丹市 荒巻バラ公園 : バラ
 - (2) 丹波市 百毫寺 : 藤
- V お知らせ ……8～11頁
会員の異動、行事案内、事務局だより、
広報コーナー(住宅再建共済制度、人間サイズのまちづくり賞、ひょうごの景観ビューポイント)

今月の花だより

伊丹市荒巻バラ公園：バラ



丹波市百毫寺：藤の花



平成30年度 定時総会会員交流会 開催報告

日 時 平成30年5月23日(水)

会 場 神戸三宮東急REIホテル

平成30年度定時総会・会員交流会が101名(総会は60名)の出席により盛大に開催されました。その総会の概要は次のとおりです。

なお、交流会の概要は別冊により報告します。



《定時総会》 17時～18時

○ 開会挨拶：瀬戸本 淳会長

兵庫県政150周年の歴史的な節目、記念すべき年を迎え誠に喜ばしく思います。

内外の諸問題が多々ある中、71年前に兵庫県が作ってくれた、この兵庫県建築会の私達も、知識と経験を基礎として、地域の安全安心・防災・生活環境の創造と建築文化の発展に寄与していかなければなりません。

ヒューマンネットワークを大切にしつつ、皆様と仲良く、楽しく、大いに夢を語り合って建築会を発展させていきたい、今後共、どうかよろしく願いいたします。

本日の総会では、「平成29年度収支決算」及び「平成30年度役員の改選」の2議案の審議及び3件の報告を上程しています。

十分のご審議とご協力をお願いし、開催に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

○ 定足数確認

事務局より議決権会員出席数41名、委任状12名合計53名で定足数を満たし、総会成立の報告を行いました。

○ 議事事項

続いて、会長を議長として議案審議を行い、次の提出議案を順次審議のうえ全議案について承認されました。

報告事項1	平成30年度事業計画について
報告事項2	平成30年度収支予算について
報告事項3	平成29年度事業報告について
第1号議案	平成29年度決算(案)について
第2号議案	平成30年度役員の選任(案)について

○ 役員の選任について

理事、監事14名全員が任期満了を迎え、13名を重任(再任)とし、石田邦夫副会長が所属会社の退任に伴い、当会理事を辞任する届けがあったため、後任を補充選任する提案を行い承認されました。新役員体制は次頁に掲載します。

○ 退任挨拶：石田 邦夫氏

建築会とは2001年3月、黒田公三の後任として関わって以来、丸17年になります。この間、竹村、北浪、そして瀬戸本氏と3人の会長、そして多くの方々とご厚誼を交わすことができ、大きな喜びでございます。

特に創立60周年記念と創立70周年の記念海外研修により親密な関係を築けたことは大いなる喜びで、この会のあり方に感謝している次第です。会のモットー「談笑すれども議論せず」、このユニークな性格をもって、今後ますます兵庫県建築会が発展することを願い、6年間務めた副会長の退任ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



○ 閉会の挨拶：大木 弘恵副会長

提案事項のご審議、ご承認をありがとうございました。限られた予算、組織の中で、工夫を凝らしてご要請への対応に努力をしてみました。



新年度でも新体制のもと、同様に努める所存です。殊に、兵庫県150周年という大きな節目の年に当たり、当会70周年事業の展開でのご支援への答礼の意味からも、この度は、協賛事業としての講演会を行います。これらの事業運営にあたり、皆様のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

最後に、会員皆様のご健勝、ご活躍をそして事業の繁栄をご祈念して総会の閉会にあたりましてのご挨拶、お礼とさせていただきます。

平成30年度定時総会におきまして新役員体制が承認されました。
つきましては、この新しい陣容をもちまして、会の進展に最善の努力をしてまいりたい所存です。
なにとぞ倍旧のご支援ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年5月吉日

一般社団法人兵庫県建築会 会長 瀬戸本 淳

平成30年度役員等一覧表

区 分		氏 名	所 属
名誉顧問		竹村 章 太田 敏郎 北浪 邦夫	元(一社)兵庫県建築会 (会長) (株)ノーリツ 名誉会長 元(一社)兵庫県建築会 (会長)
顧 問	※	奥原 崇 井垣 昭人	兵庫県県土整備部 まちづくり部長 神戸市住宅都市局建築技術部 部 長
	※	竹本 明正 川嶋 実	(公財)兵庫県住宅建築総合センター 理事長 (一社)兵庫県建設業協会 会 長
	※	高橋 伸明 柏本 保 山本 亮三	(公社)兵庫県建築士会 会 長 (一社)兵庫県建築士事務所協会 会 長 (公財)兵庫県芸術文化協会 理事長
	※	棚田 肇 石田 邦夫	(一社)兵庫県建築会 元副会長 (一社)兵庫県建築会 前副会長
会 長	◎	瀬戸本 淳	(株)瀬戸本淳建築研究室 会 長
副会長	※◎	山本康一郎 小南 正雄 大木 弘恵	(株)山本設計 代表取締役社長 兵庫県住宅供給公社 理事長 (株)大木工務店 代表取締役社長
専務理事		谷 純夫	(一社)兵庫県建築会 専務理事
理 事		岡 澄彦 平井 保夫 和田 好勝 北浪 孝一 矢間 照人 河野 潤也 浜田 洋光	(株)岡工務店 専務取締役 大阪ガス(株)法人住宅営業部 兵庫営業チームリーダー (株)明和工務店 代表取締役社長 丸正建設(株) 代表取締役社長 (株)新井組神戸支店 部 長 兵庫新装サッシ(株) 代表取締役社長 (株)黒田建築設計事務所 代表取締役専務
監 事		山田 聖一 立花 充	(一社)兵庫県建設業協会 専務理事 (株)ノバック 代表取締役社長
参 与		渡邊 勝幸 川端 宏幸 木村 光利	元(一社)兵庫県建築会 副会長 前(一社)兵庫県建築会 副会長 前(一社)兵庫県建築会 顧 問
幹 事	※	勝野聡一郎 田中 忍 瀬尾 武夫 前川真一郎 宮崎 健一 池内 修 谷口 正樹 吉川 壽一 坂井 豊 荒木 隆一	(一社)兵庫県産業廃棄物協会 常務理事 新装工業(株) 代表取締役社長 (株)宮本設計 代表取締役所長 前川建設(株) 専務取締役 宮崎建設(株) 代表取締役社長 (株)池内工務店 代表取締役 (株)家根源 代表取締役 (株)吉川組 代表取締役社長 (株)柄谷工務店 常任顧問 (株)ノーリツ 兵庫支店 兵庫支店長

区分欄の◎は代表理事、※は新任を示す。

新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた井通 5・6 丁目の再整備について

神戸市都心三宮再整備本部都心三宮再整備課事業推進担当課長 鷲尾 真弓

■ 背景と目的

現在、三宮駅周辺の中・長距離バス乗降場には、1日約1,400便ものバスが発着しており、兵庫県内、中国・四国方面といった西日本の主要都市を結んでいます。しかし乗り場が駅の東西6箇所に分散し、利用者にとっては非常に分かりにくく、また一部の交差点では慢性的に渋滞が発生しています。

これらの課題を解消するため、分散しているバス乗降場をミント神戸の既存バスターミナルとの一体的な利用が可能な雲井通5・6丁目エリアに集約し、交通結節点としての大幅な機能強化を図ることを平成27年9月に策定した三宮駅周辺地区の『再整備基本構想』に位置付けています。



▲ バス乗降場の集約イメージ

このような集約を行うことで西日本最大級の規模となるバスターミナルの整備と合わせて、駅近のポテンシャルを活かし、集客力のあるホールや図書館といった文化・芸術機能や、オフィスやホテルといった昼夜問わず賑わいを創出する新たな都市機能の集積を図る再整備を行うことで、都心三宮ひいては神戸全体のまちの魅力を高めていくことを目的としています。

■ 基本計画の策定

平成30年3月に策定・公表した「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画」は、新たなバスターミナルと対象エリアである雲井通5・6丁目の再整備の事業化に向けた基本的事項について市が策定したものです。今後、この計画に沿

って、地元地権者が中心となって、具体的な事業計画等の策定を進めていくことになります。

基本計画の策定においては、平成29年3月に民間のデベロッパーやゼネコンで構成された2つのグループを「基本計画アドバイザー」として選定し、類似事業の実績で得たノウ

ハウを活かした提案や助言を頂きました。地元地権者や市関係部局、道路管理者や交通管理者、三宮を利用するバス事業者など、多くの方々からの頂いた意見も基本計画に反映させています。

そして、平成29年12月末から約1ヵ月間実施した市民意見募集においては、予想を上回るに数の意見を頂き、市民の方々の関心の高さを実感することが出来ました。



▲ 三菱地所(株)グループの提案時イメージパース

■ 再整備のコンセプト

この再整備は次の5つをコンセプトに掲げて進めていくこととしております。

- (1)中・長距離バス移動を主体とした新たな玄関口の創出
- (2)神戸ならではの魅力と高いポテンシャルを活かした新たな都市機能の集積
- (3)地域の特徴を活かした賑わい空間の形成
- (4)三宮駅周辺におけるモータルコネクトの強化と未来志向の取り組み
- (5)官民一体となった事業推進体制の構築

■ バス乗降場の集約の考え方

降車と乗車で利用者ニーズが異なる傾向があることから、乗車場と降車場を分けて配置することとしており、降車エリアはミント神戸1階の三宮バスターミナルを再編して集約し、乗

車エリアは高質でゆとりある待合空間や物販店などを整備することを考えています。

規模については、三宮駅周辺に分散している6箇所のバス乗降場 31 バースを一箇所に集約することを前提に、将来需要や待機スペース等を考慮して、乗車・降車あわせて概ね 25～30 バースと見込んでいます。最終的なバース数は都心部を起点とする観光バスへの対応なども考慮して確定していくことになります。

また、周辺道路網の混雑解消やバスと他の交通との錯綜回避のため、バス出入口の分散化や交差点改良等を行うとともに、歩行者動線についてはユニバーサルデザインを基本とし、スムーズに駅などからアクセスできる動線等を確保していきます。



▲ 乗車・降車エリア分けと出入口の分散化

■ 再整備ビル全体のイメージ

神戸の特色であり魅力である“進取の気性”といった「神戸らしさ」を受け継ぎながら、デザイン都市・神戸にふさわしいまちなみ景観や、にぎわい・文化などのコンテンツを提供する新たな拠点をつくり出すことを目指し、「えきまち空間」における景観方針に対応しながら、新たな神戸の玄関口にふさわしい建築物及び公共空間の形成を図っていくとともに、子育て支援機能の充実や高齢者・障害者など、誰もが利用できるユニバーサルデザインを取り入れた施設計画を行っていきます。

整備・誘導を図る施設及び機能としては、以下のようなものを検討しています。

- ① 高質な待合空間、快適なパウダールーム、シャワールーム、観光案内センターなど付帯施設の充実したバスターミナルと神戸らしさを演出する周辺施設

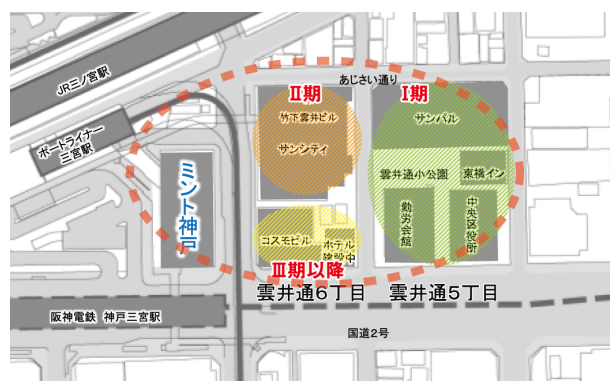


▲ 高質な待合空間のイメージ

- ② 最大収容 1,500 席以上の大規模なホール、三宮図書館など、文化芸術を体感・発信する施設
- ③ 高規格オフィス、上質なホテル、既存のにぎわい機能、緑豊かな緑化空間など都心にふさわしい魅力・活力を創造する多様な機能等

■ 事業化に向けて

対象地区には多くの地権者がおられるため、地域の実情を考慮して、3つのブロックに分けて事業を進めます。



▲ 段階的な施行のイメージ

まずは雲井通5丁目をI期として、平成32年度末からの解体・新築工事の着工、平成37年度の供用開始を目指すこととしております。

本年5月には、地権者の皆様に出資していただき、I期事業の施行主体となる「雲井通5丁目再開発株式会社」が設立されました。6月には再開発会社による事業化検討を支援する事業協力者の公募・選定を開始する予定となっており、民間事業者の技術やノウハウを活用しながら、事業化を進めていきたいと考えています。

Ⅱ 寄稿 神戸秘話第11回

『かな書道の第一人者 書家・安東聖空^{せいこう}』

会長 瀬戸本 淳

神戸に、人々を幸福にするためにと本気で働いている書家の友人がいる。その作品は静で深く、優しくて英知に満ちあふれ、書の現れは幼き子からお年寄りまで年齢や境遇を超えたさまざまな人々を惹きつける。

神戸はすぐれた書家の多い街でもある。その大きな原点は、現代かな書道のパイオニア、安東聖空だ。明治26年(1893)に兵庫県赤穂郡船坂村(現在の土上郡)で誕生。姫路師範学校を卒業後小学校の先生となったが、同僚の勧めで大正6年(1917)、齡26にして書の道へ。晩学であったが、近藤雪竹のもとで漢字を学びつつ、熱心になかな文字を研究する。やがて神戸市臨時教員養成所書道教師を経て大正11年(1922)、第一神戸高等女学校(県一)の習字科担当教諭に。安東が指導した県一生の字はひととき美しく、「県一流」と高く評された。

大正14年(1925)には教員養成所時代の教え子の桑田笹船らと「正筆会」を結成し会長に。この会には県一やその流れを汲む神戸高校関係者が多いという。昭和4年(1929)にはかな書道研究誌『かなとうた』を発刊する。

しかし、当時のかな書道はマイナーで、当時の書壇^{かいらく}の重鎮、丹羽海鶴から「君が神戸のかな書きか」という一言を浴びたそう。安東はその言葉に発憤、かなの研究に生涯を捧げる覚悟を抱いたそう。

昭和16年(1941)、安東は県一を辞し、書道一本の生活に身を投じるも、その直後に18歳の一人娘を失う。悲嘆に暮れつつも研究の歩みは止まることなく、その努力は戦後見事に開花する。昭和28年(1953)の日展出品作を文部省が買い上げ、昭和32年(1957)には戦後初の式年遷宮を迎えた伊勢神宮の社宝として作品が永久保存された。そして昭和35年(1960)、「みなそこ」が芸術院賞を受賞。かなの作品としては初の快挙で、まさにかな書道が世界の中に認められた瞬間になった。日本独自のひらがな文字は平安時代に優美の極地へと高められたが、安東は藤原行成の『和漢朗詠集』を手本に独自でかなを学んで古典への回帰を目指しただけでなく、机の上でひとり味わう小字かなから、展示会場で多くの人に鑑賞してもらう新たな壁面芸術としての大字かなへと昇華させた。「みなそこ」はその代表作だ。その後、安東の書は日本文化の象徴として、在外

公館や大阪万博の貴賓室などを彩った。

神戸では安東の作品に出会うことができる。須磨離宮公園には自作の歌の碑が、県庁一号館には「第一神戸高等学校跡」の石版がある。安東の作品を多く所蔵する神戸市立博物館の正面玄関の額も、安東の筆によるものだ。また長田区の蓮池小学校の校歌の作詞も手がけている。ちなみに、作曲はこの連載の初回で紹介した田中銀之助だ。

安東聖空の作品は、人間のまごころから現れる汗と涙と祈りが、流れるような筆の一筆一筆にあらわれている。人ならぬ輝きにうたれたとき、心の花が咲き、拝みたい気持ちになる。本当に豊かな、書の世界である。

※敬称略

※神戸高校同窓誌『鵬友』、『土上町史』、筑摩書房『現代書道教室 安東聖空』、神戸市立博物館ホームページ、須磨区ホームページなどを参考にしました。



写真／「安東聖空」神戸市立博物館
Photo: Kobe City Museum / DNPartcom

安東聖空(あんど う せいこう)

書家

明治26年、兵庫県生まれ。大正3年に姫路師範学校(新制の神戸大学教育学部、現在の神戸大学発達科学部)を卒業後、大正11年に兵庫県立神戸第一高等女学校(現在の兵庫県立神戸高等学校)教諭となる。古筆かなを独学で学び、雑誌『かなとうた』、『正筆』を創刊して書道の普及に尽力。各展で活躍し、書道界に大きな影響を与えた。日本書芸院副会長、日展参事、日展評議員、日展顧問などをつとめ、日本芸術院賞受賞、勲四等旭日小綬賞及び勲三等瑞宝章を受章。昭和55年文化功労者

《月刊神戸っ子2017年9月号から転載》

花だより (1)
バラ : 伊丹市 荒牧バラ公園
(株)林建設 代表取締役 林 義和氏

荒牧バラ公園では、世界のバラが約250種1万本が広さ1.7haの南欧風のおしゃれな園内一帯に咲き香ります。

伊丹生まれの世界的に名高い「天津乙女」「マダム・ヴィオレ」などの「ふるさとのバラコーナー」などのコーナーがあります。

(伊丹市ホームページより)



○ 花と流れのアプローチ

正面ゲートから平和モニュメント広場までのアプローチで、スペイン風の円柱とリズミカルに流れる水が来園者を迎えてくれます。

○ 平和モニュメント広場

自由・平等・人類愛を象徴する3本の柱(コラム)を中心に、渦巻き状に掘り込んだ広場が無限の宇宙を表現しています。

○ 開花情報

バラの見頃は、5月中旬～6月中旬と10月中旬と11月中旬と紹介されています。今年の開花は何処も例年より早いようですのでご注意ください



い。

所在地は、伊丹市荒牧6丁目5で開花情報等は「みどりのプラザ」(072-772-7696)にお問合せ下さい。

また、次のホームページで、公園の詳細が紹介されています。

<http://www.city.itami.lg.jp/shokai/sansaku/1444347933845.html>



○この花だよりは、(株)林建設の林 義和氏が直接取材に行かれ情報提供いただきました。

6月は花菖蒲、アジサイ、桔梗など。会員皆さんから地域の花だよりをお待ちしています。

花だより (2)
ふじ : 丹波市市島町 ^{びやくごうじ} 百毫寺

ゴールデンウィークの前半は関与する団体の資料作りに費やし、絶好の天気を恨めしく思ったものでしたが、お楽しみは先憂後楽の精神で後半に先送りと、後半2日目に市島町『百毫寺のふじ』を鑑賞に出かけました。



当日はメイトームの予報もあったものの、さすがにそのようなものは関係ないとばかりの人出で、目的地の2km手前からの大渋滞は、1時間近くの我慢を余儀なくさせられました。

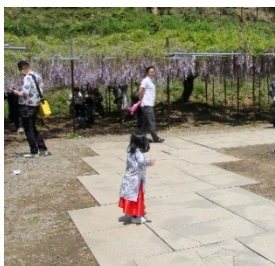
○ 百毫寺縁起

百毫寺は、705年法道仙人の開基で、本尊は薬師瑠璃光如来。眉間の白毫から神々しく瑞光を放っていたので『百毫寺』と名付けられた。

○ 百毫寺のふじ

「九尺ふじ」と呼ばれる花穂の長い藤で、正式名称は「野田長ふじ」これまで最も長いもので180cmを記録したようで、そういうことでは「六尺ふじ」ですが、阪神野田駅周辺の「野田ふじ」と同種のことでしょうか。野田のフジは丈も短くこじんまりしていましたが。

5月4日はどうやらピークを過ぎていたようで萎んだ花房も見られましたが、それでも全長120mの藤棚は圧巻で、更に上の段にももうひと棚が育成中です



花だよりで地域を巡っていますが、ここ市島でも中国語が飛び交いこんな可愛い子もいました。

お知らせ

◎ 表彰

平成30年兵庫県功労者表彰（土木建設功労）
林 義和氏（㈱林建設 代表取締役）

さる5月18日に兵庫県公館において表彰式が行われました。

誠におめでとうございます。

◎ 行事案内

○ 見学研修

日時 平成30年6月14日（木）

見学先 ①みずほ協同農園（三木市瑞穂）

②麒麟ビール工場・ビオトープ

③三田建設技能研修センター

○ 研修交流会（第466回月例会）

日時 平成30年6月28日（木）

会場 城山ゴルフ倶楽部

スタート 9時03分～ 4組

○ 第467回月例会

日時 平成30年7月12日（木）

会場 神戸三宮東急REIホテル

テーマ 『国家戦略から地域戦略へ

～全員参加のふるさとづくり～』

講師 南あわじ市長 守本 憲弘氏

以上ご案内中です。ご参加をよろしくお願い致します。

○ 平成30年度第1回事業推進委員会

日時 平成30年7月5日（木）

会場 神戸市教育会館 号室

議題 ①平成30年度事業計画について

②若年入職者の状況について

◎ 事務局便り

○ 定時総会における議案審議へのご協力をありがとうございました。また、交流会も時間の経過も忘れる程、盛会裏に執り行うことができましたこと厚く感謝申し上げます。

○ 特別会員による行政施策等の寄稿が5月号から始まり、今号は神戸市の三宮駅前の再開発を掲載しています。ご寄稿ありがとうございました。

引き続き、連載を予定していますので、特別会員のご協力をお願いします。

事務局 : 谷 純夫、石井滝実子

電話 : 078-996-2851

FAX : 078-996-2852

Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 70%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら
豪雨による災害が発生したら

自然災害から暮らしを守るために



フェニックス
セバードー
はばタン

小さな負担で
大きな安心!

月換算 500円 (2年目～417円) の掛金で、
最大 **600万円** の給付

兵庫県が
実施する

フェニックス共済

- 地震、津波、風水害、豪雪、竜巻などあらゆる自然災害が対象です。
- 他の地震保険や共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。
- 住宅の築年数や構造などに関係なく、定額負担で定額給付です。

(兵庫県住宅再建共済制度)

住宅再建共済制度 年額5,000円で 最大600万円給付!	一部損壊特約 年額500円で 補修等に 25万円給付!	家財再建共済制度 年額1,500円で 住宅とセット 加入の場合 年額1,000円で 最大50万円給付!
---	--	--

【被害の程度と給付金額】被害認定は、住宅の所在する市町が発行する「防災証明書」によります。

住宅の被害認定(被害割合)	建築・購入した場合	補修した場合	建築・購入、補修しない場合
全壊 (50%以上)	600万円	200万円	10万円
大規模半壊 (40%以上50%未満)		100万円	
半壊 (20%以上40%未満)		50万円	
特約 一部損壊 (10%以上20%未満)	25万円		10万円

お問い合わせ・お申し込みは、ホームページ または コールセンターまで!

兵庫県
(復興支援課)



公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金
 コールセンター
 ☎ 078-362-9400 (平日9:00～17:00)
 FAX 078-362-4082 フェニックス共済 検索

あわせて備えて、もっと安心!

フェニックス共済 + 地震保険や他の共済

例 地震により住宅が全壊!
 火災保険契約額 1,800万円
 再建資金 1,800万円の場合



広報コーナー 募集：人間サイズのまちづくり賞

応募用紙等お問合せ先は、チラシの下段に記載しています。

第20回 人間サイズのまちづくり賞



皆さまの身近にある優れた建築物やまちなみ、まちづくり活動、もしくは花と緑あふれるまちづくりをご応募ください。(自薦・他薦を問いません)

<応募受付期間>

平成 30 年
5 月 28 日(月)～
7 月 13 日(金)



(当日消印有効)

<募集部門>

1. まちなみ建築部門

- ・安全・安心のまちづくり
- ・ユニバーサルデザインのまちづくり
- ・環境と共生するまちづくり
- ・魅力と活力あるまちづくり

2. まちづくり活動部門

- ・安全・安心のまちづくり活動
- ・ユニバーサル社会づくりを推進するまちづくり活動
- ・環境と共生するまちづくり活動
- ・魅力と活力あるまちづくり活動
- ・自立と連携のまちづくり活動

3. 花緑部門

- ・花と緑あふれるまちづくり
- ・花と緑のまちづくり活動

※詳細は裏面をご覧ください

○受賞例 (第19回知事賞)



【まちなみ建築部門】

第一仏光こども園新園舎
(たつの市)

○内外装材に木材をふんだんに使い、常に木の温かみを感じる空間とした。開放的な場所を多くつくることで、豊かな自然を感じ、過ごす空間を提供している。

【まちづくり活動部門】

鞍居地区ふるさと村づくり協議会
(上郡町)

○特産品開発による町おこしを展開し、希少植物の保護や生態系の復活など自然環境の保全にも取り組んでいる。



【花緑部門】

ガーデン苅尾 (たつの市)

○花を通じた憩いの場所づくりを目的に、地域にある300㎡の空き地を活用した緑化活動に取り組んでいる。

<応募受付・問い合わせ先>

■兵庫県 県土整備部 まちづくり局 都市政策課 都市政策班
〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1
TEL: 078-341-7711 (内線 4668)
MAIL: kendo_toshi@pref.hyogo.lg.jp

■(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター
※花緑部門のみ受付

〒673-0847 明石市明石公園 1-27
TEL: 078-918-2405

<応募用紙配布場所>

・兵庫県 県土整備部 まちづくり局 都市政策課
・各県民局・県民センターまちづくり建築課
・花と緑のまちづくりセンター
・各市町のまちづくり担当課

※応募用紙は兵庫県のホームページからもダウンロードできます。(QRコードからアクセス可)

<応募用紙提出方法>

郵送、電子メール (wordまたは pdf 形式) または持参

人間サイズのまちづくり賞

検索



※各部門の知事賞・奨励賞は学識経験者らで構成する「人間サイズのまちづくり賞審査委員会」の審査を経て決定します。

主 催 兵庫県 / (公財)兵庫県園芸・公園協会

後 援 (公財)兵庫県まちづくり技術センター / 兵庫県住宅供給公社 / (一財)淡路島くにうみ協会 / (公財)兵庫県住宅建築総合センター / (公社)兵庫県建築士会 / (一社)兵庫県建築士事務所協会 / (公社)日本建築家協会近畿支部兵庫地域会 / 兵庫県建築設計監理協会 / (一社)兵庫県建築会 / (一社)兵庫県建設業協会 / (一社)兵庫県宅地建物取引業協会 / (公社)全日本不動産協会兵庫本部 / (公社)兵庫県不動産鑑定士協会 / (一社)兵庫県空調衛生工業協会 / (一社)兵庫県電業協会 / (一社)日本造園建設業協会兵庫支部 / (一社)兵庫県造園建設業協会 / 兵庫県都市計画協会 / 兵庫県造園緑化組合連合会 / 兵庫県市長会 / 兵庫県町村会

広報コーナー募集：ひょうごの景観ビューポイント 150選

応募用紙等のお問合せ先：兵庫県県土整備部まちづくり局
都市政策課景観形成室 078-341-7711 内線 4661

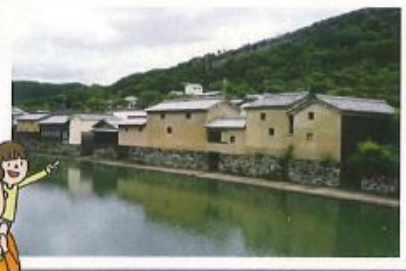
訪れてほしい
ひょうごの
景観ビューポイント

ひょうごの景観ビューポイント 150選

大募集

を教えてください！

募集期間 5月15日(火)から
6月29日(金)まで
※当日消印有効



平福の天神橋(ビューポイント)から見る川端風景

兵庫県には、美しいまちなみや豊かな自然など、人を引きつける魅力的な景観がたくさんあります。

こうした素晴らしい景観を見ることができる絶好の場所「ビューポイント」を、みなさんから募集し、県政150周年を記念して150箇所選定します！

応募資格

個人、法人、団体等を問わず、どなたでも応募できます。
(応募用紙1枚につき1つの場所とします。)

募集対象(ビューポイントの要件)

県内の美しいまちなみ、お城などの史跡、豊かな自然・田園などを主とする優れた景観^(※1)を見ることができる場所^(※2)
(※1) 祭りや風習そのものを対象としたものは除きます。
(※2) 立入りが禁止されている場所は除きます。

募集方法

応募用紙(裏面)に必要な事項を記入の上、
写真を添えて郵送またはホームページから
ご応募ください。

(ホームページ)

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks20/viewpoint150.html>

※応募にかかる一切の費用は、応募者にてご負担をお願いします。

問い合わせ(郵送)先

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1
兵庫県県土整備部まちづくり局都市政策課景観形成室
電話：078-341-7711(内線4661)



選定スケジュール(予定)

募集(～6月29日)

ご応募いただいたビューポイントは、
原則として、ホームページに順次掲載していきます。
あわせて希望される方の応募者名も掲載します。

投票(8～9月)

ご応募いただいたビューポイントの中から
「ひょうごの景観ビューポイント150選」の候補を
ホームページに掲載し、
みなさんからの投票を実施します。
投票時期や方法など、詳細については、
改めてお知らせします。

選定(12月)

景観審議会の意見を聴いた上で
「ひょうごの景観ビューポイント150選」を選定し、
広く発信します。
また、ご応募いただいた写真を活用し、
地域や観光の振興を図っていきます。

ひょうごの景観ビューポイント

検索